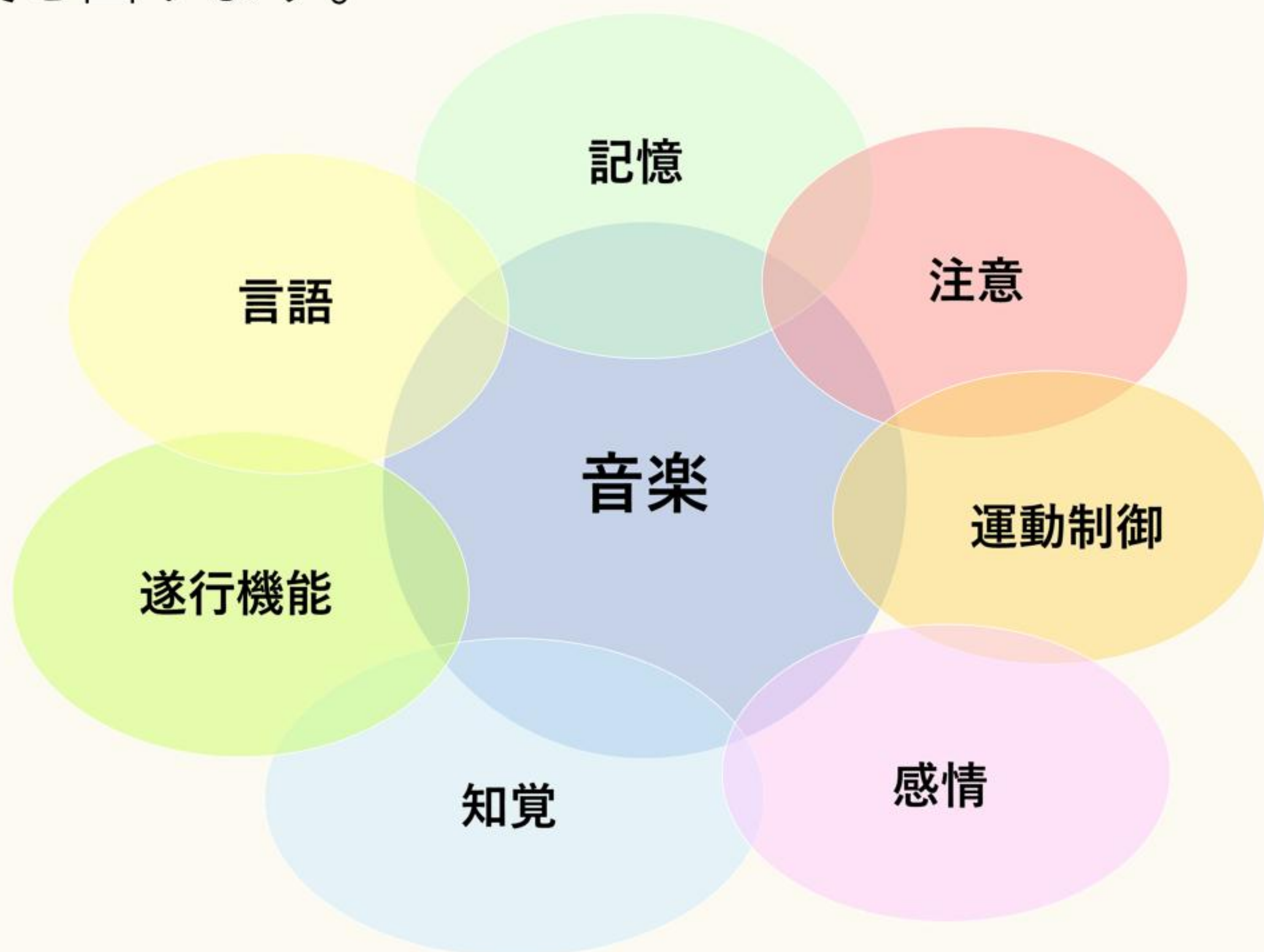


当院では神経学的音楽療法(Neurologic Music Therapy: NMT)を取り入れています。NMTは音楽の脳や動作・行動にもたらす影響を利用して**運動・言語・認知機能**の回復を図ります。



The Academy of Neurologic Music Therapy, 2023 ©

トロント大学教授 (元米国コロラド州立大学教授) Michael Thaut博士らが1990年代に提唱・体系化。

### NMTの技法例

#### RAS: リズムによる聴覚刺激

音楽療法士が提示するリズムに合わせて歩行練習を行います。リズムを付けた歩行練習は、基本的に理学療法士と共同で実施しています。リズムよく歩く練習をすることで、歩行速度と歩幅の改善、左右のバランスの向上を図ります。



#### TIMP: 治療的楽器演奏

麻痺によって動きにくくなった手指、腕、脚などの動きを楽器演奏を通して促していきます。



また、少し遠くに設置した楽器を演奏することで、麻痺側に体重をかける練習を行っています。



### 論文・学会発表

NMTの普及啓発と、より良質なリハビリテーションの提供を目的とし、積極的に学術活動を行っています。

#### 論文掲載

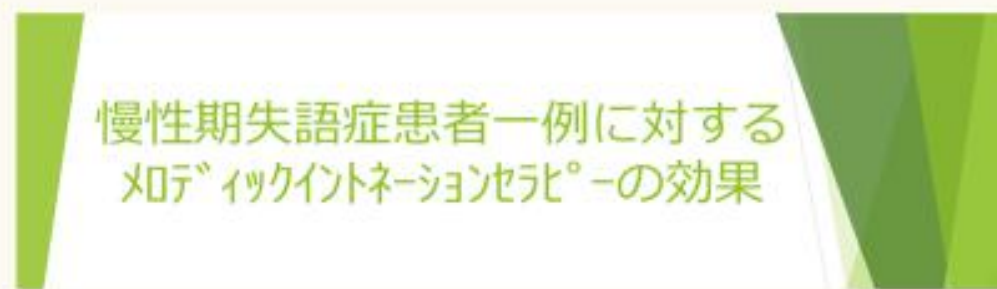
- ・理学療法科学学会誌

Original Article

Combined effect of pulmonary rehabilitation and music therapy in patients with chronic obstructive pulmonary disease

#### 学会発表

- ・日本ニューロリハビリテーション学会
- ・リハビリテーション・ケア合同研究大会
- ・日本リハビリテーション医学会学
- ・日本高次脳機能障害学会学会
- ・世界音楽療法学会 など



Musical Mnemonic Trainingを用いた言語性短期記憶訓練の効果



### 他職種との共同介入

例えば、歩行訓練中に理学療法士が患者様の身体的介入をしながら、NMTが理想的な歩行速度を提示するなど、より効果的な介入が行えます。

### NMTスタッフ

当法人では、神経学的音楽療法国際研修会を修了した専任音楽療法士が、各患者様に最適な技法を選択して効果的にリハビリテーションを進めています。

### MACT: 音楽による注意制御トレーニング



音楽を聴いたり演奏することで注意機能の向上を図ります。



例えば音楽を聴いて行う課題では、演奏されている楽器が変わった時に合図する、歌詞の中で特定の言葉が歌われた時に合図するなど、集中して様々な刺激の中から特定のものを選択する練習として行われます。

### MIT: メロディック イントネーションセラピー

リズムをとりながら単語やフレーズをメロディにのせて表出する練習をします。失語症の方でも歌を歌う能力が保たれている事が多く、言葉も歌のように唱えることから始め、話し言葉に移行していく練習です。

